


1年前はコンピュータの2000年問題で喧騒していたが、20世紀も無事に終わりを告げ21世紀を迎えた。しかし一昨年から不景気動向、昨年来の株価長期低迷化にくわえて、新年が明けたとたん高齢者の医療費負担増など暗いニュースが多い。21世紀は高齢者人口の増加による社会保障費の膨張が日本経済を危機に追いこむといわれているが果たしてそうだろうか？ 『2025年までには少子高齢化社会がやってくる』と政府は躍起になって危機感もあり、『高齢者の医療費がそれ以外の人々に比べ5倍にもなっている』などと朝日毎日の2大新聞も連日と書いていて(私の厚生省発表の数値を用いて、老人が医療費を浪費しているかのような記事を書く。しかし政府が発表するこれらの数値は何の統計的データも公表されていないし、戦前の大本営発表に似てあまり信用できない。調べてみると森医院の平成12年11月分の医療保険集計では、70歳以上の高齢者医療費は一般の医療費の1.58倍に過ぎない。若い時は病気とは縁遠いが、年をとるとあっちこっち具合が悪くなるものであり若い人の2~3倍位医療費がかかっているのかなと思っていたが、1.58倍は少ないうらいた。じゃあ何故『5倍』という数値が一人歩きしているのか？

2001年度予算大蔵案は82兆円で、いわゆる国債残高(国の借金)は389兆円。国家予算の

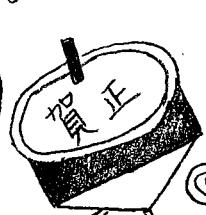
5倍も借金している勘定だから、政府与党はこれ以上社会保障費(とくに医療費)を増やせないと考えているようだ。バブルからまだ回復できない銀行へは多額の資金をつぎ込まなければならぬし、土建屋から受けた政治献金のお返しに公共事業9兆5000億円、防衛予算にも5兆円かかる。老人の医療費を削減するための世論づくりのため『5倍』が意図的に作り出されたと思われる。『少子高齢化社会の危機』についてはどうだろうか？ 現在は3.7人の若者で老人1人を支えている勘定になるが、2025年には若者2人で老人1人を支えなければならぬから大変だと言われている。しかし1950年には、9.5人という大勢で1人の老人を支えていた(しかもかわらず今より遥かに貧しかった。今は50年前より生産人口は $\frac{1}{3}$ に減ったにもかかわらず暮らしは30倍ぐらい豊かになっているのである。これは国民総所得がこの50年間でおよそ100倍になったお陰である。国民総所得が今後増加することが前提条件になるが25年先の『少子高齢化社会の未来』も明るく見える。そのためには国家予算の使われ方にいくつか条件が挙げられる。第1に絶対戦争をしてはならない。第2に公共事業を削減し銀行への金融支援策を取りやめ、国債残高を減らしていくこと。第3に和田町の政治を国民の手に取り戻すこと。

院長



ふれあいボックス


薬湯に
体を伸ばし目に見えぬ
がんじがらめの
糸ときほぐす



自己血糖測定機

糖尿病の方に Good News

以前にもたんぽぽで紹介しましたが、自己血糖測定機がより早く測定できる新型にかわりました。ふけごんの生活の中で自分の血糖値を知ることは、よりいそいそ食事療法の参考となります。少し“チク”と蚊が刺す程度の痛みはありますが、年をとった方でもほんの数回練習すれば測定方法をマスターできます。御希望の方は院長、又は看護婦にご相談下さい。



お知らせ

平成13年1月1日から健康保険法が改正され、65歳以上で老人医療受給証をお持ちの方は外来一部負担金に変更になりました。当院は定額制となっておりますのでよろしくお願い致します。

負担金..1回につき800円
(月4回まで)

痴呆について理解を深めましょう

痴呆とは、一度獲得した知的機能全般が脳の病気などにより進行的に著しく低下した状態のことです。大きく分けて2つの型の痴呆に分類されます。この2つを比較してみましょう。



	アルツハイマー型痴呆	脳血管性痴呆
原因	脳の神経細胞が極度に減少し脳が萎縮しておこってくるものですが(おき)とした原因はまだ不明です。	脳血管障害(脳卒中など)の後遺症としておこります。又気づかない間に小さい脳梗塞が多発性におこって、徐々に痴呆が現れてくる場合もあります。
症状	痴呆症状はゆっくりですが確実に進行し、やがては自立困難となり、人格が変化することもあります。物忘れは極度にひどくなり、行動や言動の異常がみられますが本人は異常だとは思っておらず、まことに病識がありません。	物事の内容によって痴呆程度が異なる。まだら痴呆(ぼた)が特徴的です。例えば高度の物忘れがあるのに、他人との対応は一見普通にみえることもあります。人格の変化は少ないですが、病的な泣き、笑い、怒りなど感情のコントロールが出来ない時もあります。
診断	初期の診断は容易ではありませんが、症状経過、諸検査から他の病気を否定することで診断されます。	症状の経過とCTにより診断されます。
治療	今のところ有効な治療はありません。	高血圧の治療が再発を防ぐため重要です。又循環改善薬も大切です。

わが国では脳血管性痴呆が50~60%ともっとも多くアルツハイマー型は30~40%といわれています。現在のところどちらも根治的な治療薬は見られていませんが、様々なストレス等で悪化した時は、周囲のあたたかい対応や適切な介護で改善をみることがあります。

転倒による骨折
 寒い冬、凍った雪道を歩くのはとてもこわいですね。転倒による骨折は寝たきの原因疾患の第二位を占めています。
 転倒した時おこりやすい骨折には
 ・大腿骨頸部骨折・大腿のつけ根がひどく痛み動けなくなる
 ・脊椎圧迫骨折...尻もちをついたら強い背部痛、腰痛がある
 ・前腕骨折...手をぶつけて倒れた時手首が腫れて痛む
 ・上腕骨骨折...肩のつけ根の骨折で腕が挙上出来なくなる
 ・肋骨骨折...胸を打った時、押さえた時、咳をする時痛むなどがあります。特に大腿骨頸部骨折は最も治りにくく注意が必要です。骨折は何と言っても予防が第一。普段からカルシウム(牛乳など)をよく摂りましょう。外出する時は足にあたり滑らない靴をはき、家の中は物をよく片付け、手すりをつけたり段差を少なくしましょう。



テレホンサービス
 (0796) 55-0151

1月のテーマ

- ① 冬にはやむ乳幼児の下痢症
- ② アメリカにおける歯の漂白の実態
- ③ 膝の靭帯損傷
- ④ 飛蚊症とは
- ⑤ 冬における高齢者の皮膚のかゆみ

編集後記

新世紀を迎え、職員も心新たに頑張りたいと思います。ご意見等ありましたら、どしどし申し出て下さい。次回発行は4月です!!